

## より安全な世界へ向けて

このニュースレターは、デュポンが創業以来200年にわたり蓄積した安全ノウハウの一部を紹介するものです。「より安全な世界へ向けて」企業経営のご参考にして頂ければ幸いです。

### 安全文化は、大人のラーニングプロセスです

企業に求められている価値観と行動規範が大きく変わってきています。日本経団連は1991年に企業行動憲章を策定し、96年にその改定を経て企業の社会的責任を果たす取り組みがなされています。日本を代表する企業の多くは、企業の社会的責任、コンプライアンス、企業倫理のあり方を見直すために担当者を置きCSR室やコンプライアンス室等を設置し、試行錯誤しながらもその社内制度の整備や価値観の浸透・定着に努めているのは周知の事実です。

デュポンも安全衛生環境、企業倫理、社員の公平処遇は会社の存立基盤（コアバリュー）であるとして全世界70カ国、200事業所でその定着のために200年間努力を継続しています。しかしながら、その周知徹底や啓蒙だけでは組織に浸透、定着はしないと考えています。デュポンのコアバリューの一つである安全の文化定着においても、合理的判断ができる大人がその価値観を受け入れ実践するには、「見て、感じて、意義を理解して行動が変わる」大人のラーニングプロセスが組織全体に不可欠であると考えています。

安全は創業当初からデュポンの企業文化の一部であり、社員の個々人が自分の安全に責任を持つだけでなく、同僚の安全についても注意を払っていました。この考え方は「全てのケガは防ぐことができる」との信念と共に会社の基本原則となっています。その考え方に基づきデュポンは、人間行動に焦点を当てた安全文化の定着、トップ経営陣の「従業員が感じ

ることができるリーダーシップ（Felt Leadership）」の発揮、手法の確立、個々人の高い職務規律の定着に努めていると共に、社外に対し安全に関するさまざまなサービスを提供しています。

### ヒヤリハットは事故です

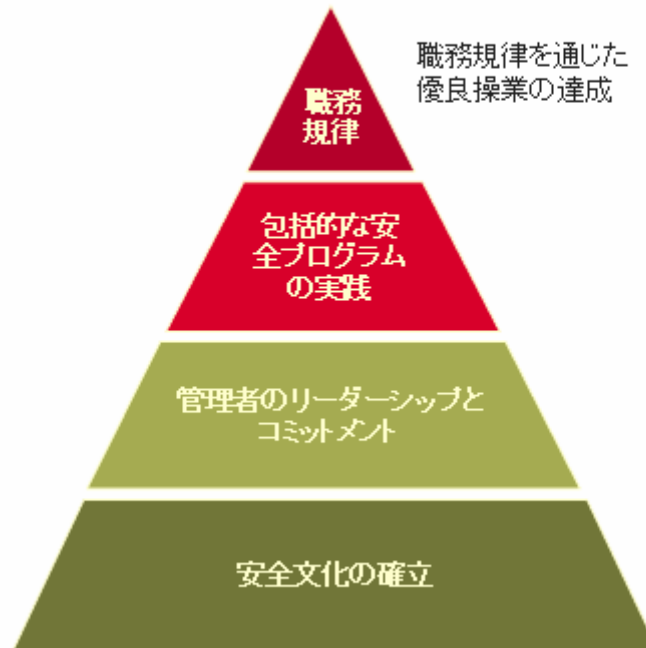
「ケガにならなくてよかった。ヒヤリハットですんでよかった」という話を聞くことがあります。重大災害になるか、軽傷災害ですむか、赤チン災害にとどまるかは偶然の結果であり、災害の発生プロセスに大きな違いはありません。災害に至らなかった場合には幸運にもたまたまヒヤリハットにとどまった、とデュポンでは考えます。災害発生の原因に大きな違いはなく、デュポンの経験では人の不安全行動によるものが96%、直接は関与できない不安全状態によるものが4%です。したがって、ヒヤリハットの深刻なものは起こった災害と同じように事故調査に取り組み原因に対する対策をとられなければならない、とデュポンは考え実践しています。

この安全管理と同じ考え方をコアバリューである企業倫理、社員の公平処遇、更には品質や納期等に対しても適用し、事故（もしくは不祥事）の予防に努めています。その意図するものは発生した後の事後対応に焦点を当てることではなく、事故の事前防止に焦点を当てる取り組みといえます。

### 安全経営ピラミッド

リスクがまったくない職場はあり得ません。しかし、従業員の意識及び職務規律を高めることにより、事故が発生する前に事故を予測、発生させない措置を講じることができるよう、また、不安全行動や状態を黙認しないよう組織にも免疫力を高めることは可能です。全従業員がリスクを理解し、適切な注意を払っていればリスクが事故に発展することを防ぐこ

## 安全経営ピラミッド



とができます。

デュポンは、職場の安全は会社存立の基盤であり、トップ経営者が自ら取り組む経営課題であるとの信念を持っています。

上図の安全経営ピラミッドに示されるように、効果的な安全経営を行うためには（１）安全文化が組織の理念及び基本価値の一部として確立されている必要があります。その土台の上に（２）持続的活動の基盤として、ライン管理者のリーダーシップとコミットメントが必要不可欠であり、（３）包括的な安全プログラムの実践を通して、（４）全ての業務を正しい方法で毎回行うことに対して深く信奉し、強い決意が組織の全構成員に行き渡っている職務規律が必要です。職務規律がなければどのように包括的で全ての内容を網羅した安全プログラムを導入しても、それは単なる「紙切れ」でしかない、と考えています。

職務規律は、一般社会では行動規範といえるものですが、高いレベルの職務規律がある組織には以下の特徴があります。

- リーダーが熱意を示し、自ら同僚や従業員に期待する行動を示している
- ライン組織は必要な資源を十分に提供している
- 各職位層の全員が関与している
- 高い水準の整理整頓がなされている
- ラインを通じたオープンなコミュニケーション
- 強いチームワーク意識がある
- 価値観を共有している
- 原則に沿った手順と一致した実践がある
- 言葉と行動で組織に対する誇りが示されている

デュポンの安全サービス全般もしくは、安全文化構築、プロセス安全・リスクマネジメント、STOP™（不安全行動是正）プログラム等についてご質問、ご要望がございましたら、お問い合わせ下さい。

デュポン（株）セーフティリソース  
（お問い合わせ先：村上、飯浜、吉田、水野、大西）  
TEL:03-5521-8509、 FAX:03-5521-2344